

# 「令和4年度 中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)」出題方針

## 1 出題方針

中学校の教育課程に基づく学習の成果としての「話すこと」に関する力を測ることとし、出題の範囲は、実施年度の中学校学習指導要領における英語「話すこと」に準拠した内容とする。

## 2 出題内容

- (1) 問題に使用する言語材料、使用語彙及び言語の使用場面等は、中学校検定教科書や東京都教育委員会が指定する教材に基づく。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の定着や、思考力・判断力・表現力などをみる。
- (3) 出題の設定に当たっては、話すのに自然な状況や場面を設定するものとする。また、題材や場面、登場人物等の設定に当たっては、中学生の学校生活や家庭生活などの実態を踏まえるとともに、人権へ十分配慮したものとする。

## 3 テスト結果の評価

- (1) 受験者の英語力を正しく評価するために、テスト結果は、スコア（※）及び都教委によるESAT-J GRADE（6段階評価）で評価する。  
※IRT（項目応答理論）により、採点結果を統計的に処理し算出
- (2) 外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠CEFRのA1からA2程度までのレベルを測定し、受験者等が今後の学習に活用できるよう、結果を提供する。（略）

## 4 その他

- (1) 学習指導要領における音声に関する基礎的・基本的な知識及び技能の定着を確認するため、まとまった英文を読み上げる問題を出題する。また、出題に当たっては、英文を読み上げる目的や場面、状況等を適切に設定する。
- (2) 「やり取り」に関する内容を評価するため、「質問する」等の内容について出題する。
- (3) 即興で答える力を評価する問題を設定する。
- (4) 統合的な力を評価するため、聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを話す問題を出題する。

## 5 評価

評価の観点	評価項目	学習指導要領との関連 (中学校学習指導要領(平成29年3月告示)外国語の目標(1)及び(2))
A コミュニケーションの達成度	・コミュニケーションの目的の成立	[知識及び技能] 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能 [思考力、判断力、表現力等] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力 [学びに向かう力・人間性等] 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手（、読み手、話し手、書き手）に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度
B 言語使用	・語彙や表現の使い方や幅広さ ・内容の一貫性 ・論理構成	
C 音声	・発音 ・強勢 ・イントネーション ・区切り	

## 6 問題構成と内容

Part	大問のねらい	問題数	評価の観点			学習指導要領との関連
			A	B	C	
A	状況や英文を理解した上で、英語音声の特徴を踏まえ音読ができる力をみる。	2	-	-	○	外国語科の目標(1) 英語の内容(1)
B	図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力や、図示された情報をもとに「質問する」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」など、やり取りする力をみる。	4	○	-	-	英語の目標(3)イ
C	日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力をみる。	1	○	○	○	英語の目標(4)イ
D	身近なテーマに関して聞いたことについて、自分の意見とその意見を支える理由を伝える力をみる。	1	○	○	○	英語の目標(4)イ